

明治二十六年

熊本縣民丹澤弥喜太外二名清國  
漂流シタル節救助シタル可玉地方官  
謝意傳達之件

九

九

外務省

昭和三十六年

皇大正九年十月十四日 主官 通商局

第百参號

安第 一九三〇

大臣

次官

本邦人漂流者送還并右漂流人ヲ不扱ヒ  
タル清國地方官ニ對シ大臣閣下ヨリ禮意ヲ  
陳ヘシ度件ニ付上申

熊本縣下益城郡住吉村十番戸

井澤 彌喜太

三十九年

鹿児島縣川邊郡七嶋惠石嶋

有川 岩助

三十六年

鹿児島縣揖宿郡福元村字山川

満石 良助

三十六年

明治廿六年十一月廿日

右漂流者ノ儀、付本月一日付公信第九十九號、以  
テ本邦、送還方可、在斗台申進置キ、露本月一日清  
官、世話、依リ、當港、到着、四日、高港、道台、別、  
寄一號、通リ、在福州、通商、統局、司道、照會、寫、添  
、本官、對シ、右漂流者、引渡、在、付、即、其、漂着、花  
、護送、模様、相尋、在、露、右漂流者、數年、前、引  
沖繩縣、八重山、嶼、寄留、生活、致、其、モノ、井澤、彌喜太  
、該地、近傍、清嶋、於、海產、漁業、及、鳥毛、鬼集  
、官、之、在、越、度、胡馬、嶋、在、出、務、人、迎、  
為、有、小岩、助、滿、石、良、助、二名、船頭、在、米、數  
俵、積、本年、六月、四日、八重山、嶋、石垣、大川、村、出  
帆、セ、露、日夜、暴風、遭、數日、洋中、漂流、  
末、月、十二日、清國、浙江、省、平陽縣、古鰲頭、港、内

漂着シ、帆、檣、共、破損シ、同、露、地方官、厚、恩、依  
リ、船、体、供、覆シ、又、帆、檣、ヲ、新、調、及、小、丸、二、個、薪  
菜、代、ト、シ、テ、銀、二、兩、給、助、ヲ、受、ケ、七月、十五日、福州、向  
ヒ、同、所、ヲ、出、帆、シ、タ、リ、同、十八日、再、ヒ、暴風、為、福州、省  
霞浦縣、三沙、漂着シ、又、同、所、地方官、救、助、ヲ、得、テ  
船、体、ヲ、塗、替、且、潤安協、附、所、兵、船、一、艘、ヲ、護  
衛、ヲ、得、テ、同、月、二十六日、兵、船、ト、共、福州、向、テ、出、帆、シ、同、廿  
七日、北家港、ニ、又、兵、船、一、艘、ヲ、増、シ、都、合、二、艘、ヲ、保、護  
ヲ、受、ケ、同、月、二十九日、福州、港口、到、着、シ、同、三十日、福州  
入港シ、同、所、着、後、直、々、同、地、海防廳、送、ラ、レ、同、廳  
、福州、係、在、中、諸、般、救、助、ヲ、受、ケ、又、霞浦縣、知、事  
、銀、四、兩、惠、與、ヲ、受、ケ、在、福州、本、邦、樂、善、堂、得  
和洋行、廬、小、軒、三、店、ヨリ、名、一、布、尚、土、樂、善、堂、ヨリ

別三弄及衣服三領ノ惠典ヲ受テ同所滞在中所持  
船ヲ銀七弗ニ賣却シ八月三十日同地出帆ノ汽船ニテ  
通商總局ヲ招商局委員ニ付セシ尙港ノ獲送セ  
ラレシモノニ有之矣又右福州通商總局長ハ別紙函ヲ  
一紙記載シ通商福州ヲ尙港迄無運賃ニテ右潭流  
者ヲ送還シシノ外銀三十六弗ヲ給典致ス趣ニ共  
右潭流人等ニ尙館ノ引取ノ節諸入費ヲ引去リ金  
二十五圓ヲ所持セシ付尙港本邦居留人ノ組織セル  
慈善會ヲ金十圓其外諸有志者ヲ同十二圓ヲ給  
典シ尙地ヲ長寄進ニ郵船會社ニ依頼シ無運賃  
送還シ約シ尙潭流者ノ希望ニ任セハ重山嶋ニ送還  
ノ目的ヲ以テ本月九日尙港出帆郵船ニ依リ別紙函  
第二號ノ通商長寄縣知事ニ宛潭流者ヲ送還シ

前述ノ如ク該三名ハ清國沿岸ノ潭者以來殊々同國諸  
官ノ厚待ヲ受ケ其ニ付見等諸官即平陽縣知縣霞  
浦縣知縣閩安協福防廳長及福州通商總局長  
等ニ對シ大臣閣下ヲ禮意ヲ表サシ度テ本官  
ノ希望ニ所ニ申座共右表禮ニ就テ本官ニ訓示  
相成ヲ得本官ヲ夫ノ貴命ヲ轉達可致共  
右潭流ノ願末ヲ具シ及上申也  
明治廿六年九月九日  
在上海

外務次官林董殿  
總領事代理林格助

追テ前陳潭流者ヲ長寄ニテ無運賃ニテ乘船セム  
件ニ此地郵船會社ニテ右極ノ難キ趣ニ付感



東京本社、何等申出、裁、難、斗、片、間、其、節、  
該、名、等、情、况、ヲ、所、通、知、相、成、運、賃、位、該、社、於、施  
典、政、五、事、ヲ、望、ム、旨、所、相、談、有、之、様、希、望、致、ス、右  
申、添、也

「九 明治二十六年熊本県民井澤弥喜太外二名清国へ漂流シタル節救助シタル同国地方官へ謝意伝達之件」  
マイクロコマンナンバー0072-0074 【第百三号 本邦人漂流者送還並ニ右漂流人ヲ取扱ヒタル...】 在上海日本総領事館郵紙

九

明治二十六年  
熊本県民井澤弥喜太外二名清国  
へ漂流シタル節救助シタル同国地方官へ  
謝意伝達之件

大臣 ○〔署名〕

次官 ㊟〔林董〕

二十六年九月十四日接受 主管 通商局 ㊟〔原敬〕

〔明治二十六年十二月七日記録○接受〕

第百三号 受第一一九三四号

本邦人漂流者送還並ニ右漂流人ヲ取扱ヒ  
タル清国地方官ニ対シ大臣閣下ヨリ礼意ヲ  
陳ヘラレ度件ニ付上申

熊本県下益城郡住吉村十番戸

井澤 弥喜太

三十九年

鹿児島県川辺郡七島悪石島

有川 岩助

三十六年

鹿児島県揖宿郡福元村字山川

満石 良助

三十六年

右漂流者ノ儀ニ付本月一日付公信第九十九号ヲ以  
テ本邦へ送還方可取計旨申進置候処本月一日清  
官ノ世話ニ依リ当港へ到着同四日当港道台ヨリ別紙  
第一号ノ通り在福州通商総局司道ノ照会写ヲ添  
へ本官へ対シ右漂流者ヲ引渡候ニ付即其漂着並  
ニ護送ノ模様ヲ相尋候処右漂流者ハ数年前ヨリ  
沖繩県八重山島ニ寄留生活致候モノニテ井澤弥喜太

「九 明治二十六年熊本県民井澤弥喜太外二名清国へ漂流シタル節救助シタル同国地方官へ謝意伝達之件」  
マイクロコマナンバー0072-0074 【第百三号 本邦人漂流者送還並ニ右漂流人ヲ取扱ヒタル...】 在上海日本総領事館野紙

ハ該地近傍諸島ニ於テ海産漁業及鳥毛蒐集  
ヲ營ミ候趣ニテ此度胡馬島ニ在ル出稼人ヲ迎ヘン  
為メ有川岩助満石良助ノ二名ヲ船頭ニ雇ヒ米数  
俵ヲ積ミ本年六月四日八重山島石垣大川村ヲ出  
帆セシ処同夜ヨリ暴風ニ遭ヒ数日洋中ニ漂流ノ  
末同月十二日清国浙江省平陽県古鰲頭港内  
ニ漂着シ帆樯共ニ破損シ同処地方官ノ厚遇ニ依  
リ船体ヲ修覆シ又帆樯ヲ新調シ及小甕二個薪  
菜代トシテ銀二弗ノ給助ヲ受ケ七月十五日福州ニ向  
ヒ同所ヲ出帆シタルニ同十八日再ヒ暴風ノ為メ福建省  
霞浦県三沙ニ漂着シ又同所地方官ノ救助ヲ得テ  
船体ヲ塗替ヘ且ツ閩安協附属ノ兵船一艘ノ護  
衛ヲ得テ同月二十六日兵船ト共ニ福州ヘ向テ出帆シ同二十  
七日北家港ニテ又兵船一艘ヲ増シ都合二艘ノ保護  
ヲ受ケ同月二十九日福州港口ニ到着シ同三十日福州  
ニ入港シ同所着ノ後ハ直チニ同地海防庁ニ送ラレ同庁  
ニテ福州滞在中諸般ノ救助ヲ受ケ又霞浦県知事  
ヨリ銀四弗ノ恵与ヲ受ケ在福州本邦楽善堂、得  
和洋行、廬山軒ノ三店ヨリ各一弗尚ホ楽善堂ヨリ  
別ニ三弗及衣服三領ノ恵与ヲ受ケ同所滞在中所持  
船ヲ銀七弗ニ売却シ八月三十日同地出帆ノ汽船ニテ  
通商総局ヨリ招商局委員ニ付セラレ当港ヘ護送セ  
ラレシモノニ有之候又右福州通商総局長ハ別紙写第  
一号記載ノ通り福州ヨリ当港迄無運賃ニテ右漂流  
者ヲ送還シタルノ外銀三十六弗ヲ給与致候趣ニ候  
右漂流人等ハ当館ヘ引取ノ節諸入費ヲ引去リ金  
二十五円ヲ所持セシニ付尚当港本邦居留人ノ組織セル  
慈善会ヨリ金十円其外諸有志者ヨリ同十二円ヲ給  
与シ当地ヨリ長崎迄ハ郵船会社ニ依頼シ無運賃  
送還ヲ約シ尚漂流者ノ希望ニ任セ八重山島ニ送還  
ノ目的ヲ以テ本月九日当港出帆郵船ニ依リ別紙写  
第二号ノ通り長崎県知事ニ宛漂流者ヲ送還致候  
前述ノ如ク該三名ハ清国沿岸ヘ漂着以來殊ニ同国諸  
官ノ厚待ヲ受ケ候ニ付是等諸官即平陽県知県、霞  
浦県知県、閩安協、福防庁長、及福州通商総局長  
等ニ対シ大臣閣下ヨリ礼意ヲ表サレ度キ事本官

「九 明治二十六年熊本県民井澤弥喜太外二名清国へ漂流シタル節救助シタル同国地方官へ謝意伝達之件」  
マイクロコマンバー0072-0074 【第百三号 本邦人漂流者送還並ニ右漂流人ヲ取扱ヒタル...】 在上海日本総領事館罫紙

ノ希望スル所ニ御座候右表札ニ就テハ本官へ御訓示  
相成候得ハ本官ヨリ夫々貴命ヲ転達可致候  
右漂流ノ顛末ヲ具シ及上申候也

明治二十六年九月九日

在上海

総領事代理林権助<sup>⑩</sup>〔在上海日本帝国総領事之印〕

外務次官林董殿

追而前陳漂流者ヲ長崎マテ無運賃ニテ乗船セシム  
ル件ハ此地郵船会社ニテハ有極メ難キ趣ニ付或ハ  
東京本社ヨリ何等申出候哉モ難計候間其節ハ  
該名等ノ状況ヲ御通知相成運賃位ハ該社ニ於テ施  
与致候事ヲ望ム旨御相談有之様希望致候右  
申添候也